

2年 1学期【国語】 主な評価規準

単元	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
ちいさいおおき い	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。
つづけてみよう 日記	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	積極的に経験したことから書くことを見つけ、学習の見通しをもって日記を書こうとしている。
声のものさしを 使おう	音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。	積極的に声の大きさや速さなどを工夫し、学習の見通しをもって話そうとしている。
えいっ	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など内容の大体を捉えている。	進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもっておもしろいところを紹介しようとしている。
		「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	
ひろい 公園	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	積極的に自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、学習課題に沿って質問に答えようとしている。
画と書きじゅん	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。		積極的に漢字の筆順を理解し、学習の見通しをもって正しい筆順で漢字を書こうとしている。
一年生で学んだ漢字①	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文を書こうとしている。
すみれとあり	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えている。	進んで時間的な順序や事柄の順序などを考え、内容の大体を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
		「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	

「言葉あそび」 をしよう	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。		進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付こうとし、学習の見通しをもって音読しようとしている。
	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。		
かたがなで書く 言葉	片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。		積極的に片仮名で書く語の種類を知ろうとし、今までの学習を生かして文を書こうとしている。
図書館で本を さがそう	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の探し方を知ろうとしている。
「生き物のクイズ」を作ろう	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	積極的に必要な事柄を集めたり確かめたりし、学習の見通しをもって、「生きものクイズ」を作ろうとしている。
		「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になうように、事柄の順序に沿って簡単な構成をかんがえている。	
なかまの言葉 と漢字	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。		積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって感じの意味のつながりを知ろうとしている。
うれくなる言葉	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。	積極的に言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって「うれくなる言葉」を伝え合おうとしている。
きつねのおきゃくさま	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って好きな場面を発表しようとしている。
		「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	
いなばの いろいろさぎ	昔話や神話・伝記などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。		進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、今までの学習を生かして昔話や神話・伝承の書かれた本を探して読もうとしている。

<p>「かんさつ発見カード」を 書こう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文のなかにおける主語と述語との関係に気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって「かんさ発見カード」を書こうとしている。
<p>「言葉のなか まさかしゲーム」を しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身近なことを表す語句の量を増やし、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 積極的に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって言葉を分類しようとしている。